

Yamagata Life Real Voices

山形市を選んだ

77 人のインタビュー

山形の魅力は
ひとりひとりの
声のなかにある

ゆうに百人を超す、山形市に移住した人たちの声を集めてきました。
なぜ辿り着いたのかという物語も、どこに魅力を感じたのかという価値観も、
百人百様でした。やがて私たちは一人ひとりまるで違うその声の集積こそが
まちの宝だと気づきました。ひと括りにできない、数値的指標にならない、
個別的で、定性的で、微発泡みたいな小さな声たちこそが山形市のまちの
真実を語っている、と。そうした声の断片を掲載したのがこの冊子です。
ちよつと気になる言葉や人を見つけたら、

QRコードからリアルローカル本編へぜひ飛んでみてください。

リアルローカル山形編集部

Yamagata Life
Real Voices

1

遠くの世界も
見てきた人たち

Name.
佐藤洋一郎さん
武田悠さん



山形特有の食文化が
世界に通じているんです



「ブルピエ」という店名の由来は「ひょう」です。山形の人が食べる雑草の「ひょう」。北海道でワイン造りに挑む知人が訪ねて来てくれたとき「これ知ってるよ、ブルピエでしょ」と言ってくれて。ヨーロッパでも食べる文化があること、フランス語で『ブルピエ』と呼ぶことを教えてくれました。山形特有の食文化が実は世界に通じていたことに感動しました。雑草であり、強く根を広げていくことに共

Profile. 武田さん (右)

◎ブルピエ・シェフ ◎転職・起業 ◎日替わりメニュー作りの虜
◎そば、洋食、イタリアン、フレンチなど数々の調理場を経験

感も覚えました。

この店のテーマは、ナチュラルワインと季節の料理です。ナチュラルワインは作り手の生き方そのもの。自然派だからこそ、同じ品種のブドウを使って同じ産地で作くっても作り手によって味がまったく変わります。アーティスティックな精神性で、自然をリスペクトしながらワインづくりを楽しむ人たちのワインです。山形の地元の人にはそういう世界や全国の素晴らしい作り手を紹介しつつ、県外から来た人には山形のおいしさを知ってもらおう。そんな食のメディアみたいな存在でありたいです。



Profile. 佐藤さん (左)

◎ブルピエ店主 ◎2014年に山形市にUターン
◎山形→栃木→東京→山形 ◎転職・起業 ◎ナチュラルワインの虜



Name.

奥山ヒラリーさん
五百川かおるさん

いろいろな考え方があっていい
デコボコこそが面白い



「日常生活を通じて、楽しく英語に触れられる環境があったらいいのに」
「子ども達が自分らしくいられること。その大切さを感じられる場所が必要だね」
私たちふたりとも10年以上にわたって英語教育に携わってきて、それぞれに温めてきた思いがありました。それで、

「自分たちが思う『あったらいいな』をすべて詰め込

んだ、よくばりな英語教室をつくろう！」

と、2017年9月、山形市の中心市街地に、「デコボコ英語」をオープンさせました。

人生、山あり谷あり。人それぞれ、いろんな生き方、考え方があっていい。デコボコが楽しい。デコボコこそがいい。この屋号にはそんな思いが込められています。

日本では英語にコンプレックスを持っている子どもが多いように感じます。アメリカ人みたいに話せないと英語じゃない、と思っている。だけど、海外のいろんな国の人々は、ネイティブではなくても、それぞれの発音でまっすぐに英語を話しています。



Profile. 五百川さん (左)

◎デコボコ英語主宰 ◎二児の母 ◎小学校英語指導者資格
◎チャイルドカウンセラー ◎米国モンテソリー学校でボランティア経験

Profile. 奥山さん (右)

◎デコボコ英語主宰 ◎2007年に山形に移住 ◎ニュージーランド→山形
◎ニュージーランド人の父とイギリス人の母を持つ ◎一児の母
◎小中学校で英語を教えるために山形へ ◎多彩なワークショップのある英語教室

Name.

小島康平さん

懐深い自然と

優しい人たちに魅了され



—— 2年間でアメリカから山形に8回は通いました。時間を重ねるごとに、もっと知りたい、もっと1年の季節を通して長くいたいという気持ちが強くなっていきました。夫婦共に東京出身ですが、アメリカから日本に戻ったらどこに住もうか？ と話していた。僕が魅了されたこの山形に妻を連れて案内したところ、山形の自然と優しい方々をすごく気に入ってくれました。2020年春、夫婦でアメリカから山形に移住しました。



Profile.

- ◎山寺英語ガイド ◎2020年に山形市に移住
- ◎東京→ニュージーランド→東京→中国→アメリカ→山形
- ◎山伏修行や月山の自然や人など山形が気に入って ◎自然を近くに感じる日常

Name.

山中 保人さん

—— 山形交響楽団では、主に山形や東北エリアを中心にスクールコンサートも開催しています。創設者で指揮者の村川千秋先生が、子どもたちに本物の音楽を聞かせようとはじめたオーケストラですので、そういう活動が多いのかも。僕たちの演奏を子どもたちがすごくキラキラした目で見てくれるのを見ると、弾いてよかったなと思います。



Profile.

- ◎音楽家 ◎神奈川県生まれ
- ◎山形交響楽団 首席ヴィオラ奏者
- ◎2018年に山形市に移住
- ◎神奈川→オーストラリア→ドイツ→山形
- ◎ヴィオラファンを増やしたい

Name.

リサ・ソマーズさん

—— 山形での一番の楽しみは岩登りです。知人が「山形にクライミングジムがあるよ」教えてくれたのが2014年の冬。すぐにハマりました。そこでできた仲間に「屋内だけでなく外岩に行ってみよう」と誘ってもらい山寺へ行くとまたハマりました。今も楽しくて楽しくて週に2回、春夏秋冬ずっと山寺に通い、岩登りしています。



Profile.

- ◎翻訳者・通訳者 ◎アメリカ生まれ
- ◎山形大学非常勤講師
- ◎2010年に山形市に移住
- ◎アメリカ→富山→山形
- ◎山寺でのロッククライミングに夢中

あなたが山形市で見つけたものとは？



17



山のエネルギー

里山の木々は、人が育てた自然エネルギーなのだと気づきました。

● 三浦秀一さん



14



好きに移動できる自由さ

運転を覚えたら移動が自由になった。東京では味わえなかった感覚です。

● 今野洋子さん



11



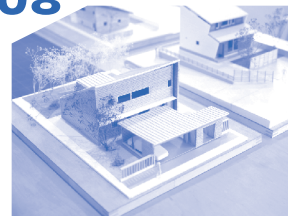
子育てしやすい環境です

Uターンし出産。子育て中は実家やベニっ広場があって助かりました。

● 大友亮子さん



08



面白い仕事の可能性

山形でも面白い建築ができると閃いた予感は、今も続いています。

● 井上貴詞さん



18



農家という新しい仕事

これから新規就農者をめざすひとの良き支援者になっていきたいです。

● 雪ノ浦邦恭さん



15



創造性

映像だけでなく音楽や食文化など多様な創造性をもつ創造都市です。

● 佐藤孝弘さん



12



自分が好きなこと

畑、草むしり、睡眠、家族、犬…。自分が好きなことを見つけました。

● 中村幸子さん



09



結婚生活、そして猫との暮らし

3匹の保護猫と一緒に生活しています。人懐こく甘え上手な猫たちです。

● Kari Ishikawa さん



19



たいやきわかば

山形に住んでから初めて行ったお店。ホッとする美味しいたいやきです。

● 松崎優歌さん



16



だし

特にみょうがの効いたもの。きっと一生の夏の定番です。

● 芳賀耕介さん



13



温泉を掘り、山に暮らす楽しみ

幼少時代の山での楽しい思い出から、晩年は山暮らしと決めていました。

● 伊藤節さん



10



旅行気分が日常に味わえる！

すぐ近くに温泉・山・川があり、歴史ある建造物や商店街が残るから。

● 香坂明さん



山形市なら

都会より安く

暮らせるかしら

リアルローカル山形
ライター 那須ミノル・文



十数年前、東京暮らしを経て山形市にUターンした私が最初にしたこと。それは車を買うこと。通勤にも仕事にも何にでも車がある。自分の車を持つのは当然と思いました。東京で給料を貰っていたのに貯金ゼロの私は親に頼ります。中古車1台百万円。車を持つと今度はガソリン、保険、税金、スタッドレスタイヤなど年間数十万円の出費が。私の移住は最初からお金がかかり、親に迷惑もかけました。

今の私が当時の私にアドバイスするなら「職住近接を狙え」です。職場と住まいが近いと自転車ですむ。車を買わない選択をすると初期投資百万円と年間運用コスト数十万円が浮きます。

仕事で必要なら会社の車を使えばいい。プライベートではカーシェアかレンタカーでいい。職住近接ならお金も時間も節約できる。お金を貯めてから好きな車を買えばいいし、余裕がきたら暮らしをシフトさせればいい。

山形は職住近接できる可能性が高い。家賃は東京みたいに高くなく、どこも空室も見つけやすい。都会ではありえない好条件です。工夫次第で低コストな暮らしの設計が可能です。どこにお金をかけるのか、かけないのか。自分にとって大事なことの取捨選択をし、上手に設計する。山形市にはその設計の自由度が残されていると感じます。

Yamagata Life
Real Voices

2

自分らしい
生き方を見つけた人たち



Name.

石田真澄さん
石田大さん

祖父の物語を 引き継いでいきたい



——長く山寺で商店を営んでいた祖父が亡くなり、店を閉じることになりました。私たちは子育てのために東京からUターンすることを考えていたタイミングだったので、その場所を引き継ぎ、かねてから考えていたジェラート専門店をオープンすることになりました。祖父の名前「幸三郎」にちなみ、新しい店を「コザブジェラート」と名付けました。

かつての商店の面影を大切に、天井のはりや土間

などを生かしリノベーションしました。店内1Fにある椅子は50年ほど前から商店で使っていたものを覚えていて懐かしんでくれるお客さんもいます。祖父と付き合いがあった地元の人にも食べに来てもらえるのがとても嬉しいですね。祖父が大切に守ってきた地域への思いを引き継いでいきたいです。山形で店をやる醍醐味は、採れたて素材を使えること。食材は鮮度が命です。新庄のラズベリー、鶴岡のメロン、上山のかぼちゃ、飯豊の牛乳や河北の甘酒など、地域の良いものを選びます。ジェラートを通じて、山形の豊富な食材を知っていただく窓口になれたらいいですね。



Profile. 真澄さん (左)

◎COZAB GELATO 代表 ◎2018年に山形市に開業
◎山形→東京→山形 ◎3児の母 ◎祖父の店の物語を継ぐ

Profile. 大さん (右)

◎COZAB GELATOシェフ ◎埼玉→愛知→アメリカ→イタリア→東京→山形
◎脱サラしイタリアで料理修行 ◎イタリア料理留學門コンサルタントの経験
◎山形オリジナルジェラートづくり



Name.

北嶋孝祐さん
追沼翼さん

新しいまちの風景を
つくっていきたい



——東北芸術工科大学の建築・環境デザイン学科在学中から、山形市七日町の郁文堂書店再生プロジェクト、山形ヤタイの全国展開、シネマ通りマルシェの企画運営、駐車場をイベント会場に変えるParking Jack、仙台LIVE+RALLY PARKにおけるストリートファニチャーなど、七日町はもちろん日本各地のさまざまな都市で、建築を通して気持ちのいい風景をつくりだす活動をして

Profile. 北嶋さん (右)

◎Day&Coffee店長 ◎大学入学を機に山形市に暮らす
◎秋田→山形 ◎全国の有名コーヒー店を巡る ◎学生起業家

きました。

そしてその後起業しオープンさせたのが山形市すずらん通りの「Day & Coffee」です。エリアリノベーションが広がる七日町シネマ通りを離れずらん通りを選んだのは、山形駅から徒歩5分というアクセス良好なエリアだから。また、建ち並ぶのは夜の飲食店が多く、昼間から立ち寄れるお店が少なかったから。そしてここは1960年代に建てられた3階建てビルの長屋のような建築群で、200メートルにも渡って連なる日本有数の防火建築帯。リノベーションによって、モダンで美しいこの通りの物語と景観を受け継ぎつつ、まさに新たな日常を生みだしたいと思ったからです。



Profile. 追沼さん (左)

◎Day&Coffeeオーナー ◎大学入学を機に山形市で活動開始
◎宮城→山形 ◎学生起業家 ◎山形ヤタイ ◎郁文堂プロジェクト

Name.

角田たまきさん



笑顔が連鎖する場を
つくりたいです



山形の方はいいものを見極められる人が多いと感じます。都会はものが溢れすぎて何を手にしたらいいのかわからなくなるけど、それがない分、好きと嫌いをハッキリできるのかも。いいものはちゃんと認めてくれて、そこに対価を払うことも当たり前と感じてくれて、さらに「ありがとう」という気持ちを込めてくださる人が多いように思っています。施術したあとにお客様の感謝の気持ちが伝わってくるから、私もうれしくって。



Profile.

◎HOLIC店主 ◎2014年に山形市にUターン ◎山形→東京→山形→
兵庫→大阪→山形 ◎パーツビューティーサロン ◎ネトラバスティ

Name.

竹直也さん



蔵王の人たちと一緒に
温泉街を盛りあげたい



蔵王の魅力はなによりも温泉街の人たちです。みなさんが蔵王に誇りを持っていて、そのパッションに影響されてどんどん温泉街に関わるようになっていきました。純粹に楽しかったんですね。気づけばすっかり蔵王にハマっていました。当時まだ震災の傷痕が残る温泉街は元気がない状態でしたが、一緒に温泉街を盛り上げていきたいと思い、自分もここで何か立ち上げようと決意したんです。



Profile.

◎Zao Onsen 湯旅屋 高湯堂店主 ◎北海道→日本一周→宮城→山形
◎日本一周旅行2回 ◎蔵王温泉の魅力にハマる ◎温泉コーデショップ

29

28

27

26

Name.
田中 美海 さん

—— お店を都会で出すつもりはなく、山形に戻るの
当たり前と感じていました。大学時代に地域活性や
街づくりを学んだからかもしれません。山形のまち
が元気に見えるための要素がたくさんできれば「山
形には何もない」なんて言う人もいなくなるはず。
私もお店を出すことで山形が元気になる要
素のひとつになりたい、と思いました。



Profile.

- ◎和菓子甘菓 店主
- ◎2018年に山形市にUターン
- ◎山形→東京→奈良→京都→山形
- ◎和菓子職人
- ◎まちの元気の要素になりたい

Name.
近藤 隆幸 さん

—— 七日町に決めたのは、このまちへの想いがあつた
から。子供の頃からの憧れのまちで、母親に連れて
きてもらってオムライスを食べたり、映画を見たり、
いい思い出ばかり。それが今ではまちの象徴でもあ
った映画館がゼロになってしまったり、という変化
を寂しく見ていたので。少しでも地元之恩
返しがしたいと思いました。



Profile.

- ◎フラム店主
- ◎山形→東京→山形
- ◎仕事と子育てのためUターン
- ◎飲食店勤務後独立
- ◎ピッツァとワインの店

Name.
伊藤 典子 さん

—— 着物が、その素材感やテキスタイルが、好きな
です。洋服では出せない織りや染めがあつて、とて
も手間がかかけられていて。帯締や帯留めなどの小
物がいろいろあれば、メインとなる着物と帯がたく
さんなくても着物を着る楽しみは広がります。着物
の魅力を堅苦しくなく、気軽に楽しんでも
らえるよう伝えていきたいですね。



Profile.

- ◎とみひろ庭多泉 店長
- ◎1995年に大学入学により山形へ
- ◎福島→山形
- ◎創業444年の老舗呉服店

Name.
高木 孝治 さん

—— ここ数年、20〜30代前半の木工を志す若い人が働
きたいと希望してくれてすごく嬉しいです。と
いうのも、日本全国で日に日に古民家を取り壊され、
昔ながらの技術がなくなっていますが、その技術を
自分たちにインストールしておけば途絶えさせるこ
となく伝えていける。それこそ自分が木工
を志した理由でしたから。



Profile.

- ◎古民家ライフ代表
- ◎2000年に山形市に移住
- ◎福島→宮城→山形
- ◎里山暮らし
- ◎発酵住宅

あなたが山形ではじめたものとは？



39



シェアスタジオ

文翔館の向かいの築50年のビルのフロアをリノベーションしました。

● 片桐賢久さん



36



山形のヨガスタイル

ヨガでは呼吸は基本。山形なら新鮮でおいしい空気が吸えます。

● 新関あやさん



33



大工の仕事

すでにある古き良きものを大切にしたいという思いがあります。

● 長利咲代子さん



30



リモートな働き方

東京からUターンする時「仕事を続けたい」と社長に直談判しました。

● 渡邊信生さん



40



落語

山形落語愛好協会を知り、自分もやりたくなってしまいました。

● 高橋佳奈子さん



37



冬をスポーツで楽しむ

蔵王スキー場まで休日は朝から、仕事終わりはナイターへ、直行します！

● 伊藤迪子さん



34



山形ブラジル音楽協会

山形では生で聴くのが難しい南米等の音楽家を招聘すべく素人だけで結成。

● 石郷岡学さん



31



自然のなかで子育て

夫婦でアウトドアが好きなので、子供にも自然体験させたくて。

● 中山夏美さん



41



Uターン後のワークスタイル

東京からUターンしても、東京の仕事が続けいくことにしました。

● たくまさん



38



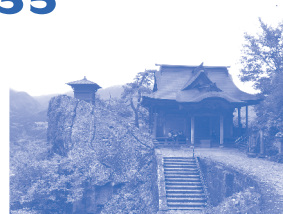
ゆたかな暮らし

東京より、ここで暮らす方が人生が豊かになると直感しました。

● 千葉亮さん



35



山寺英語ガイド

英語を生かして地域の役に立つことがしたい、と考えました。

● 小林雅子さん



32



コワーキングスペースづくり

山形にもこういう場所がほしくて、自分でつくろうと思いました。

● 佐藤千弘さん



43

よよさん 宮城から山形へ移住。七日町が好き。クルマも自転車も持たない山形暮らしを満喫中。

42

ゆたかさん 宮城から山形へ移住。山形が大好きだから、が移住理由。2020年によよさんと結婚。先のことを決めすぎない、予約しない、思いついたらそのときに行動するひと。

もともと山形にゆかりもなかった

ある移住者夫婦の会話。

「視線が上に向く、重力の軽いまちだよ」かめいゆたかさん

かめいさん夫婦は震災後の2011年、宮城で出会います。宮城で暮らすふたりはときどき来る山形のことが好きになり、2018年から山形に移住。ふたりで生活するようになりまし
た。2020年、ふたりは山形で結婚、新たな生活をスタートさせています。
「なんでそんなに山形が好きなんでしょうねえ？」という素朴な疑問から、ふたりの会話ははじまります。

ゆたか 最初、山形駅から七日町まで歩いたとき、道路の向こうに山が見えたんだけど。それがすごくよくなって。

●

まちと山がすごく近くて、まるで裾野とつながっているような感じがしたんだよ。そんな風景見たことなかったしね。よよ まえに暮らしていた仙台よりも「ずっと山形の方が好き」ってよく言ってるもんね。あと、「山形の方がずっと『都会的』」とも言ってるよね。
ゆたか それは山形って、良いものを良いものとして認め、それに価値を見出すひとが多いような気がするから。小さな商店にもいいものが揃っていたり、店主のこだわりがちゃんとあつたり、それを喜ぶお客さんがいる。そういうところにまちの文化度や教養が

表れている気がする。ぼくらが仙台では感じることができなかった感触が、山形にははつきりとあるんだよ。よよ 七日町のお店とか行っても、私たちにとってはモノを買うというよりも、お店のおじさんおばさんに会って話するのが面白い、っていうのはあるよね。
ゆたか そうそう。面白いひとに会えたり、面白いひとと話したり、仲良くできたりする。いちど仲良くなると、どんどん新しい扉が開いていく。そういうのが山形のまちに潜んでいる魅力なんだと思う。こっちに暮らしはじ

めた頃、アパートの前でギター弾いてたらこつちをじーっと見てる運送屋のおじさんがいて「ちよつと弾きますか？」って声かけたら、ウマすぎて衝撃的だった。すごい技をそつと隠し持ってるようなひとが多いんだよ。よよ あと「山形は重力が少ない」とも言ってたかった？
ゆたか うん、仙台に暮らしているときはなんだか空気が重く感じたの。それが山形に来たら軽くなった。なんでだろーって考えてみたら、それはやっぱり風景のせいなんじゃないかと思いついた。いつも向こうに山があるから

なんじゃないか、と。ほら、こうして道路を歩いていても向こうのほうに千歳山とか蔵王とかの姿がくつきりとあるから、視線が自ずと上を向いちゃう。まちに大きな空と山があるから、カラダが勝手に反応して上を向いちゃうんだよ。よよ 山形って歩いているほうがいいまちだよ。ゆつくり歩くスピードでこそお店を楽しめるし、ひとに会えるし、仲良くなれる。わたしは七日町でずーっと楽しんでられるもん。カラオケもあるし、おいしいごはんやもあるし、友達とずっと遊んでいられるよ。

「七日町にはほぼすべてが揃っているよ」かめいよよさん



仕事はまず
存在を知って
もらうことから

リアルローカル山形
ライター 中山夏美・文



東京でフリーランスの編集ライターという仕事をしていて私にとって山形で仕事を見つけることは最大の課題でした。ハローワークや求人情報誌に募集が載っているような職業ではないので、取引先は自分で見つけるしかありません。しかし、山形にはフリーのライターを必要とする媒体が少ない。そのためUターンをする前に東京での仕事を継続できるように取引先と交渉することから始めました。幸いにもコロナ禍によってZOOMなどを使った取材が普及したこと、感染対策と経費削減の観点から地方取材は現地ライターに任せる動きが進んだことでリモートの需要が高まり、変わらず仕事をオフ

アーしていただいています。山形だけでなく、近隣の宮城や福島へ取材に行く仕事も任せられ始め「東北といえば」と思ってもらえる関係づくりをしてきたことが実を結んだと思っています。とはいえ、地元根付いた仕事もしたい。そこでとくにライター募集はしていなかったけれど、やりたいと思った媒体に営業に行きました。自分ができることを売り込み、少しずつ仕事をいただけるようになっていきます。フリーランスで仕事をしていくには、自分が存在していることを知ってもらうことが大事。立ち止まっていたは、道は開けません。まずは恐れず新しい扉を叩くことがいちばんだと思います。

Yamagata Life
Real Voices

3

楽しみを
謳歌する人たち



Name.

金沢修平さん
小林健人さん

地元でなにか一緒にやろう、と
約束を交わしていました



——店を出す前には、ニューヨークのウィリアムズバーグにある名店「Best Pizza」に直談判し、現地修行にも行ってきました。一番こだわったのは生地です。山形にはパン屋が多く、パンにこだわりのある人が多いから、耳までおいしく食べてもらえるピザにしたかったので。

ぼくらの店のコンセプトは「おやつの時間に、おじいちゃんが孫を連れて歩いて歩いてピザを買いに来れる

店」。地元で根付く店にしたいんです。ニューヨークではエリアごとにピザ屋さんがあって、おじいちゃん、おばあちゃんはもちろん、近所の子供がお小遣いを握りしめてピザを買いに行くこともある。○

○さんがつくったピザを食べに行く。そういったコミュニティ感覚は、山形にすごく合うと思うんです。

この店をきっかけに、初めてニューヨークピザを食べる人もいるかもしれない。だから、下手なものを出せないし、責任をもってニューヨークスタイルのピザを提供しないといけないと思っています。山形にはないアメリカ文化を、いつかは山形を超えて仙台や東北にまで伝えて、広めていきたいと思っています。



Profile. 小林さん (左)

◎HAVE A GOOD SLICE オーナー ◎2013年に山形市にUターン
◎山形→東京→山形 ◎ニューヨークスタイル・ピザ

Profile. 金沢さん (右)

◎HAVE A GOOD SLICE シェフ ◎山形市出身
◎幼なじみと開業 ◎元自動車整備工場をリノベーションした店舗



Name.

太田崇史さん

太田藍さん

店をやるならシネマ通りと
決めてました



—— 京都暮らしも12年が過ぎ、そろそろ帰ろうかと思
っていた頃に、友人のSNSで郁文堂書店再生プロ
ジェクトのことを知りました。「あ、タイミングか
な」って直感し、それが山形へ戻ってくる具体的
なきっかけになりました。

高校生の頃、郁文堂のあるシネマ通りにはよく遊
びに来ていました。当時はまだ映画館があつて、い
まより賑わっていました。しかし大人になってから

は、帰省するたびに人通りが少なく寂しい印象にな
っていて……。なので自分がお店をやるならこの界限
にしようと思いました。

10年以上山形から離れていたので不安なことも多
かったのですが、とんがりビルやBOTACoffee
の存在も知るようになり、若い人がつくるおもしろ
い流れがあるいま、一緒にやってみたいと思いました。
実は、店をオープンする前から、告知や挨拶をか
ねて、郁文堂の作家ブースに商品を置かせてもらっ
ていました。郁文堂オーナーの原田伸子さんも学生
さんもみなさん親切で、わたしたちの顔を知ってい
る人が同じ通りにいてくださるというだけ
で、心強く感じました。



Profile. 藍さん

◎汽水域 店主 ◎福岡→京都→山形
◎金工アトリエ&ショップ ◎七日町シネマ通り

Profile. 崇史さん

◎彫金師 ◎2017年に山形市にUターン
◎山形→京都→山形 ◎代々続く鑄物の装飾師の家系

Name.

昼田祥子さん



生き返るほどの
おいしさに出会いました



Profile.

◎ファッションエディター ◎2020年に山形市に移住
◎広島→京都→東京→山形 ◎リモートワーカー ◎おいしさに夢中

Name.

犬飼ともさん



美術教室をひらくのは
大きなチャレンジでした



Profile.

◎アトリエスマイル主宰 ◎2021年に山形市にUターン◎山形→東京→
山形→北海道→山形 ◎海洋プラスチックゴミをアートに ◎子どもと美術

——震災10年目の年は東北に戻ろうと決めていて、
2021年に地元の山形で子どもの美術教室を開く
ことにしました。山形で教室を開くことは大きな挑
戦でした。特殊な教室なので仙台のほうが需要があ
るかもなんて迷っている矢先にコロナがきました。
そこで「ふるさとに帰りたい」と強く思いました。
失敗なんてない。僕にとってはチャレンジしないこ
とが一番の失敗。うまくいくかわからない
けど、山形でやってみようと。



53

52

51

50

Name.

佐藤
真梨絵
さん

私の地元北海道は自然豊かですが冬が圧倒的に長く、大規模農場や酪農が多い平野部なので景色の変化が少ないんです。山形は山も田んぼもたくさんあって、稲が成長する過程を身近に見られたり、果物や野菜が多品種あって四季折々で生産物を楽しめたり、食生活も豊か。自然に囲まれたいいお店で旬のものが食べられるのがいいですね。



Profile.

- ◎gugu flower
- ◎2016年に結婚を機に山形市に移住
- ◎北海道→東京→山形
- ◎山形で花の仕事スタート
- ◎ブーケ、リース、フラワーギフト

Name.

小林
舞香
さん

毎日温泉に浸かるとこんなに体にいいんだと驚いています。蔵王の強酸性の泉質でお肌つるつるです。水がおいしいからお酒もおいしい。野菜の質がいいせいか、きゅうりの漬物とかさりげない食事が驚くほどにおいしい。それに、これまでいろんな地方を巡りましたが、こんなにも温かいおもてなしを頂いた土地は他にありません。



Profile.

- ◎画家
- ◎東京生まれ
- ◎2021年より山形市に移住
- ◎アーティストインレジデンス
- ◎蔵王画家暮らし

Name.

神保
雅人
さん

朝採れ野菜のおいしさ、綺麗な空気、真赤な夕日、山の連なり。僕が弱っていたからか、カラダに染みました。病気になるってから東京では下を向いていたけど、山形で視界が広がるのを感じました。地元の人にとっては当たり前の日常は、実はすごいんじゃないのか。山形の魅力を自分なりに伝えられたら、と思うようになりました。



Profile.

- ◎SLOW JAM店主
- ◎2013年に山形市にUターン
- ◎山形→東京→ロンドン→東京→山形
- ◎誰もが主役になれる場をつくりたい
- ◎シアターサイドカフェ

Name.

高田
幸平
さん

当時アトピーに悩んでいましたが、山形の自然や環境のおかげか半年間で肌荒れが治り、体調が回復。それに伴い少しずつ自分の作風が見えてきました。トレンドから距離を置いた静かな環境で自分に向き合えたからでしょう。自分が生きていく上でのコンディションを優先しつつ、自分の作風をさらに追求していこうと思いました。



Profile.

- ◎ペインター
- ◎東北芸工大大学院進学がきっかけ
- ◎2011年に山形市に移住
- ◎兵庫→京都→山形
- ◎山形は空がきれい

あなたが山形市で気に入ったものとは？



63



山形で出会った作家さんの作品

食器やアクセサリ、絵画など。好きなものに囲まれて暮らしています。

● 中島彩さん



60



全体的な雰囲気

なんとなく全て肌に合う。中途半端な田舎っぽさ、人の気質、食べ物。

● 佐藤利光さん



57



散歩登山

丁度よく「散歩登山」できる山が近くにあること。盃山がお気に入り。

● 北野由望さん



54



雪の季節

年1回リセットするようにピタッと辺り一面静まり返る感じが素敵です。

● 一ノ瀬絹子さん



64



オイシイ タベモノ

“エンドー”ノ、ジイチャングクレル、キャベツ、ダイスキ、デス

● ボタちゃん



61



自然の緑や川の水や鳥の声

はっきりした四季と自然が身近な環境のなかでの創作活動です。

● 山増ちひろさん



58



ゆったりと流れる時間

急かされることもないまちで、人の優しさと季節の移ろいを感じています。

● 竹永絵里さん



55



産直がいっぱい

種類豊富で、伝統野菜など初めて見る食材も多く、発見があって楽しい。

● 伊藤美香子さん



65



山までの距離感

市内の家から車で10分走れば山道が始まる。それが気に入っています。

● 伊藤優里さん



62



車窓からの遠景

西蔵王から53号線を市街地へむかう車窓から望む薄暮の景。

● さいとうまさひろさん



59



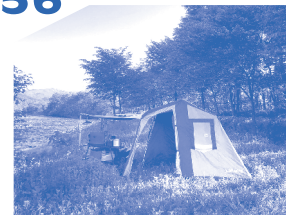
子どもたちが遊べるまち

子どもがいつでも遊べる大自然と多くの施設が身近にあるまち。

● 坂部経洋さん



56



キャンプを楽しむ暮らし

ありのままの自然の中に「ちょっと場所をお借りします」という感覚です。

● 高橋美樹さん



あなたが山形市で愛してやまないものとは？

75



温泉

日常の一部で、なくてはならない存在。身心を癒してくれる最高の拠り所。

●佐藤英人さん



72



まるごまるごのもり天

とにかく出て来るのが早く、そばとゲソ天とたれのバランスが最高。

●根岸功さん



69



納豆系

納豆そば、納豆ラーメン、納豆餅、納豆汁、ひっぱりうどん、最高です。

●児玉佳奈美さん



66



エンドーのげそ天

毎日でも食べたいぐらい。山形で1番愛しているのは私だと思います。

●星野輝彦さん



76



土着の文化

文学、絵画そして郷土料理など地域にストックされた文化の豊かさ。

●柴田健一さん



73



だし、芋煮、ひっぱりうどん

自宅で食べてこそ旨い、という究極のローカル食だと思います。

●片倉大介さん



70



山家町・秀鳳酒造の「きたのかちどき」

酒は高くて旨いは当たり前。リーズナブルで旨いのが大事! 毎晩のお供。

●浅井絢子さん



67



馬見ヶ崎橋からの眺め

美しい空や川、山並みに日々癒やされています。

●浅井恵子さん



77



365日おいしい食環境

米野菜果物肉魚山菜きのこそばラーメン日本酒ワイン…。1年ずっと美味。

●小板橋基希さん



74



濃厚な四季の変化

やはり四季の変化を濃厚に感じられるところが素晴らしいですね。

●山川洋一郎さん



71



ひと

関わった人たちと家族のような関係になっていく感覚があります。

●斎藤美穂さん



68



畑のある暮らし

眺めのよい畑で採れた野菜を食卓に並べる日々です。

●那須ミノルさん



real,local
yamagata

2021年11月15日発行

発行・編集／real local Yamagata
〒990-0039 山形県山形市香澄町
1丁目11-18 とみひろビル1F 02
info@reallocal-y.jp